

9 研究活動と研究環境

進捗状況報告

教員・学生の研究発表状況を的確に把握するための組織的な取り組みが必要である。この点については具体的な取り組みが行なわれていないのが現状である。早急に検討を開始したい。

学内第三者評価

①総合政策学部・研究科の教育研究を支えている4つのセンターについての自己点検・評価がなされることが望まれる。

— 以下全学共通 —

研究成果の発表状況について以下の表のとおりであることに留意されたい。

学部	年度	著書	論文	レフリー付論文	学会報告	学術発表	翻訳	調査報告	書評	評論	事典	辞典	講演	招待講演	特許取得	特許出願
	2001	28	28	4	15	0	4	13	2	12	0	0	16	6	0	0
	2002	23	17	18	16	1	1	16	7	17	0	0	23	8	0	0
総合政策学部	2003	31	12	12	23	0	0	12	3	20	0	0	18	22	0	0
	2004	14	39	4	9	0	3	8	1	17	1	0	10	17	0	0
	2005	23	34	11	14	0	2	2	2	10	1	0	11	21	0	0
	2006	16	22	7	14	0	0	4	0	10	0	0	5	25	0	0
	2007	14	7	9	11	0	0	4	0	15	0	0	10	36	0	0
計		149	159	65	102	1	10	59	15	101	2	0	93	135	0	0

(基本的な指標データNo9211、「関西学院大学研究業績データベース」に登録されている件数)